

第86回

全国市長会議



第86回全国市長会議（通常総会）を6月8日、ホテルニューオータニにおいて617名の市区長の出席を得て開催した。

総会運営委員長の松浦・松江市長の進行のもと、会長の森・長岡市長があいさつを行い、次いで安倍・内閣総理大臣、高市・総務大臣からそれぞれ祝辞をいただいた。

次に、永年勤続功労表彰市長（12年勤続）60名、特別功労表彰市長（20年勤続）1名が表彰され、被表彰者を代表して、北川・昭島市長からあいさつがあった。

その後、議事に入り、森会長が議長となり、会務報告、平成26年度決算報告、平成28年度予算承認が行われた。続いて、会則改正案等の審議を行い、執行体制のあり方に関する検討会議座長の立谷・相馬市長から同会議の検討結果の報告および副会長の能登・富良野市長から提案理由の説明があり、原案のとおり改正・施行することを決定した。

各支部提出議案については、第1分科会委員長の野村・萩市長、第2分科会委員長の菅谷・松本市長、第3分科会委員長の布施・登米市長、第4分科会委員長の塚部・伊万里市長から各分科会における審議の経過および結果について報告があり、いずれも了承された。

続いて、決議案等の審議を行い、「平成28年熊本地震への対応に関する決議」（提案理由説明者：佐藤・大分市長）、「東日本大震災からの復旧・復興及び福島第一原子力

発電所事故への対応に関する決議」「地震・津波・台風等防災対策及び原子力安全・防災対策の充実強化に関する決議」（同・内野・海老名市長）、「地方創生の推進・分権型社会の実現に関する決議」（同・蓬萊・小野市長）、「都市税財源の充実強化に関する決議」（同・三木・須坂市長）、「持続可能で安定的な社会保障制度の構築に関する決議」（同・大西・高松市長）、「多世代交流・共生のまちづくりに関する特別提言」（同・太田・豊田市長）を決定した。なお、「平成28年熊本地震への対応に関する決議」に際し、熊本県市長会会長の高寄・玉名市長から支援に対するお礼あいさつがあった。

次いで、役員改選を行い、正副会長候補者選考委員会座長の菊谷・伊達市長の報告どおり、副会長（任期1年）に上野・北広島市長、谷藤・盛岡市長、立谷・相馬市長、東村・福井市長、清原・三鷹市長、志賀・東金市長、佃・伊東市長、森下・樫原市長、黒田・玉野市長、松浦・防府市長、岡崎・高知市長、平安・小郡市長を選出した。

新しく就任した副会長からそれぞれあいさつがあり、最後に旧役員を代表して、蓬萊・小野市長からあいさつが行われた。

なお、全国市長会議の運営にあたっては、総会運営委員（委員長：松浦・松江市長、委員：菊谷・伊達市長、佐々木・名取市長、山野・金沢市長、並木・羽村市長、佃・伊東市長、野田・東大阪市長、川真田・吉野川市長、森・鹿児島市長）が行った。

開会あいさつ



会長の森・長岡市長

来賓あいさつ



安倍・内閣総理大臣



高市・総務大臣

表彰



永年勤続功勞表彰市長を代表して表彰を受ける酒井・能美市長



特別功勞表彰を受ける北川・昭島市長



被表彰市長を代表してあいさつをする北川・昭島市長

総会運営委員



総会運営委員長として会議の進行にあたった松浦・松江市長



総会運営委員

会則改正案等審議



執行体制のあり方に関する検討会議
座長の立谷・相馬市長



副会長の能登・富良野市長



各支部提出議案審議経過および結果報告



第1分科会委員長の野村・萩市長



第2分科会委員長の菅谷・松本市長



第3分科会委員長の布施・登米市長



第4分科会委員長の塚部・伊万里市長

決議案等審議



決議案の提案理由説明をする佐藤・大分市長



決議案の提案理由説明をする内野・海老名市長



決議案の提案理由説明をする蓬萊・小野市長



決議案の提案理由説明をする三木・須坂市長



決議案の提案理由説明をする大西・高松市長



特別提言案の提案理由説明をする太田・豊田市長



熊本地震への支援に対するお礼のあいさつをする高崎・玉名市長

役員改選



正副会長候補者選考委員会座長の菊谷・伊達市長



満場一致で選出された新副会長



旧役員を代表してあいさつをする蓬萊・小野市長

新たに選出された副会長



上野・北広島市長



谷藤・盛岡市長



立谷・相馬市長



東村・福井市長



清原・三鷹市長



志賀・東金市長



佃・伊東市長



森下・榎原市長



黒田・玉野市長



松浦・防府市長



岡崎・高知市長



平安・小郡市長